

## POC(Proof of Concept)用 IOS アプリ 仕様書 (V.1)

### 1. 目的

現在は作業室内の測定器の測定データを、人が 1 日 3 回巡回して記録用紙に日付、読み取ったデータをボールペンで記入している。測定器は 30 台ほどあり、作業室にはこれ以上電源コンセントも増やせない。また作業室内には電波が乱反射して Wi-Fi 電波も飛ばない。作業室内はスタッフが行き来するため、有線ケーブルも張れない。紙は最低 3 か月は保管義務があり、紙が溜まる一方である。

こういう状況で、ペーパーレス化を行いたい。

### 2. 開発にあたり、開発者側で準備いただきたいもの

- ・開発用 iPhone または iPad
- ・開発用マシン (Mac, 接続ケーブル) と開発環境
- ・測定器に貼ることを想定した QR コードを印刷した紙 (大きさは応相談)

4 - 5 種類で結構です。

QR コードは無料の QR コード作成ツールで作ってください。

コード内容はおまかせしますが、30 台の測定器の特定に使用するほか、将来的に測定器のメーカーや管理番号を含ませる可能性があります。

- ・QR コード読み取りライブラリは無料のものでお願いします。

### 3. 今回のアプリの基本仕様

(1) IOS 端末はあるため、紙とボールペンの代わりに、IOS 端末を持って人が巡回する。

巡回後は IOS 端末を事務室の PC (Windows) につないで、IOS 内のデータを PC に CSV 形式でダウンロードしたい。その後は EXCEL で報告書用に加工する。

(2) 巡回時の操作は以下とする。

(a) アプリを起動し、画面のリセットボタンを押す。IOS 端末内部の CSV データが初期化される。

(b) 1 台目の測定器のところに行き、目視で表示されている数を読み取る。

(c) ダイヤルを回して読んだ数値のところまで止める。(以下のイメージです)

以下のような入力方法を想定しています。奥手息の数値範囲は -30.0 から 100.0 で、小数点以下一桁です。ダイヤルの初期値は 20.0 です。



March	13	2010
April	14	2011
May	15	2012
June	16	2013
July	17	2014

(d) 続いて、測定器に貼った QR コードを読みます。



(e) その状態で撮影ボタンを押すと入力した数値、日時時刻、QR コード文字列を IOS 端末内の CSV に書き込む。

(CSV イメージ)

日付	時刻	QR コード文字列	数値
2024 年 8 月	08:30:00	Abc-sokutei-1	20.5
2024 年 8 月	08:45:30	Abc-sokutei-2	19.0
2024 年 9 月	23:30:45	Rental001	-09.0

CSV データは最大 30 行あればよいです。

(f) 次の測定器のところに行き(b)から始める。

(g) 測定終われば、PC (Windows) に iPhone を USB 接続し、PC にダウンロード。

以上です。